

授業科目 比較技術研究特論	単位 2単位
授業担当者 近藤雅樹	授業期間 前期
<p>授業の題目と概要</p> <p>授業題目「コレクションと検索システムを活用した民族技術の比較研究」</p> <p>諸民族の生活技術を対象として、技術の保持・創意の背景となる文化の態様を探るため、国立民族学博物館が所蔵する30余万点におよぶ標本資料の検索システムを活用するとともに、実際の標本資料と対峙して比較考察力の向上をはかる。また、諸民族社会に通底する基本的な生活技術の多様性の理解に至ることを目的とする。</p>	
<p>授業の内容と計画</p> <p>諸民俗社会に通底して保持されてきた基本的な生活技術には、発火方法、調理方法、運搬方法などさまざまなものがある。それらの技術の中から受講者が任意に選定した技術について、検索システムにより抽出した種々の標本資料を観察して得られる情報を整理分類し、比較考察する能力を養成する。</p> <p>オリエンテーション 検索システムの概要に関する講義と収蔵庫内の見学</p> <p>第1ステップ 検索システムの操作方法に関する指導</p> <p>第2ステップ 受講者が設定したテーマに即した分析方法などの指導助言</p> <p>第3ステップ 分析結果の整理方法・論旨展開の方向づけなどの指導助言</p> <p>第4ステップ 報告書の作成（編集・構成）に対する指導助言</p> <p>評価 成果物に対する判定と評価</p>	
<p>使用する参考書、参考論文等</p> <p>特になし。</p> <p>受講者は、自ら設定したテーマに即した文献を渉猟して研鑽に励むこと。関連する周辺領域にける有益と判断した文献などについては、必要に応じて提示する。</p>	
<p>成績評価基準</p> <p>検索システムの活用能力、情報分析能力、分析結果の編集能力、成果物に反映した指導助言の理解度を総合的に判断して評価する。</p>	
<p>その他の留意事項</p>	